

終戦時の混乱を免れて生き延びた
戦時下の映画の風景を生きしく伝える

極めて稀少な第一級資料群!!

旧映画公社 蔵 戦時統制下 映画資料集

第Ⅰ期 統制下の映画界 全九巻

軍艦隊隊

東

大本営海軍報道部企画・海

昭和廿年十月十日

週間報告 最終號

文部省認定印

五・24

内務省告示第481号
映業法施行規則第七條規定ニ依リ左ノ通達會
昭和十四年十月一日
内務大臣 大日本映画監督會

小編

料資情事南映方
情事西映の賓律比

ゆまに書房

六月六日付
課費調査企協商映洋南
新規第二号

朝鮮映画界日誌
附諸統計

聖六年度

事畫映の度印東

東京国立近代美術館フィルムセンター監修

内務省令各印

内務省令各印

内務省令各印

内務省令各印

内務省令各印

内務省令各印

内務省令各印

内務省令各印

内務省令各印

佐崎順昭解題

日本映画社

五〇〇

プロ・パガンダの一季節

— 映画公社旧蔵資料の復刻にあたつて



東京国立近代美術館フィルムセンターに長い間保管されていた映画公社旧蔵の映画関係の膨大な資料。

(主任研究員・岡田秀則)

手前味噌ながら、太平洋戦争と映像メディアの関わりを知ろう

とする多くの人々にとって、この資料が等閑視されることはもはや考えにくいと思われる。研究のためのマテリアルとして、この資料を、映画研究者はもちろん、現代史、メディア史などに携わる幅広い分野の方々が活用されることを望む。

（主任研究員・岡田秀則）
号（110-111年）で佐崎順昭により発表されたが、この度の復刻版の出版にあたっては、中でも戦時下の映画の風景を生きしく描かれた資料が、110-111年度によくリスト化されたことが契機となつた。その成果はまず「東京国立近代美術館紀要」第十六

第Ⅰ期 統制下の映画界（全九巻構成）

● 第1巻 映画公社関係資料

映画公社の「週間報告」や「日本劇映画作品目録」、軍部が南方より持参したアメリカ映画のフィルム（総数一二〇巻）等を記す「米国敵産管理関係書類」等々映画公社に関する資料。

【収録資料】 大日本映画配給社業務規程（1941.11.11）／社団法人大日本映画配給社（仮称）配給業務規程要綱案（1941.11.24）／社団法人大日本映画配給社事業規程（1942.1.24）／社団法人大日本映画配給社配給業務規程案（1942.1.31）／映画配給社報第4号（1943.1.15）～第13号（1943.8.1）／第15号（1943.9.1）～第17号（1943.10.1）～第19号（1943.11.1）／映画配給社第一回職員養成所講演録（※雑誌「映画旬報」連載）（1945.11）／映画公社本社圖面（1945）

● 第2巻 映画配給社資料

大日本映画配給社の業務規定や社団法人映画配給社が一九四三年一月一日創刊し、一日と一日の月二回発行した「映画配給社報」及び同社の定款、事業予算等収録。

【収録資料】 大日本映画配給社業務規程（1941.11.11）／社団法人大日本映画配給社映画配給社第一回事業予算／社団法人映画配給社報第4号（1942.1.24）／社団法人大日本映画配給社配給業務規程案（1942.1.31）／映画配給社報第4号（1943.1.15）～第13号（1943.8.1）／第15号（1943.9.1）～第17号（1943.10.1）～第19号（1943.11.1）／映画配給社第一回職員養成所講演録（※雑誌「映画旬報」連載）（1945.11）／映画公社本社圖面（1945）

● 第3巻 大日本活動写真協会調査月報 I

「大日本活動写真協会」は、日活・松竹・新興キネマ・大都映画の四社（後に極東キネマ・全勝キネマが加わる）にて構成された業界団体。内務省に映画検閲の統一を要求するなどの活動を行つた。「大日本活動写真協会調査月報」は同協会の定期刊行物。

【収録資料】 第3巻第1号（1937.1.31）～第3巻第4号（1937.4.30）／第3巻第6号（1937.7.31）～第3巻第7号（発行年月日不明）

● 第4巻 大日本活動写真協会調査月報 II

【収録資料】 第3巻第8号（1937.8.31）～第3巻第12号（1937.12.31）

● 第5巻 大日本映画協会資料 I 脚本講習会

【収録資料】 「絵じも『映画法』」から

● 第6巻 大日本映画協会資料 II 映画法

【収録資料】 「日本映画に就いて」南方特別留学生の手記（1944.3）／「東印度の映画事情」（1942.11）／「比律賓の映画事情」（1942.6）／「仏印映画界の近況」（1943.8.5）／「南方向劇映画筋書篠懸三郎」「十億の合唱」（1943）／「南方向劇映画筋書土屋伸之助」「太陽の都」（1943）／「南方向劇映画筋書港春平」「ビルマの土」（1943）／「南方向劇映画筋書名トリーの組立て方」（1944.4.26）／「講演・島津保次郎」「脚本は如何に映画化されるか」（1944.5.12）／「講演・松浦晋」「映画と行政」（1944.6.7）

● 第7巻 外地関係 I

【収録資料】 「日本映画に就いて」南方特別留学生の手記（1944.3）／「東印度の映画事情」（1942.11）／「比律賓の映画事情」（1942.6）／「仏印映画界の近況」（1943.8.5）／「南方向劇映画筋書篠懸三郎」「十億の合唱」（1943）／「南方向劇映画筋書土屋伸之助」「太陽の都」（1943）／「南方向劇映画筋書港春平」「ビルマの土」（1943）／「南方向劇映画筋書名トリーの組立て方」（1944.4.26）／「講演・島津保次郎」「脚本は如何に映画化されるか」（1944.5.12）／「講演・松浦晋」「映画と行政」（1944.6.7）

● 第8巻 外地関係 II

【収録資料】 「日本映画に就いて」南方特別留学生の手記（1944.3）／「東印度の映画事情」（1942.11）／「比律賓の映画事情」（1942.6）／「仏印映画界の近況」（1943.8.5）／「南方向劇映画筋書篠懸三郎」「十億の合唱」（1943）／「南方向劇映画筋書土屋伸之助」「太陽の都」（1943）／「南方向劇映画筋書港春平」「ビルマの土」（1943）／「南方向劇映画筋書名トリーの組立て方」（1944.4.26）／「講演・島津保次郎」「脚本は如何に映画化されるか」（1944.5.12）／「講演・松浦晋」「映画と行政」（1944.6.7）

● 第9巻 映画製作関係（劇映画・文化映画）

【収録資料】 大日本映画製作株式会社（仮称）定款（案）（1941.12）／大日本映画製作株式会社第十九回企画審議会議事録（1943.11.17）／大日本映画製作株式会社第二十九回企画審議会議事録（1944.11.11）／大日本映画製作株式会社第三十二回企画審議会議事録（1945.1.12）／大日本映画製作株式会社第三十三回企画審議会議事録（1945.2.20）／我社系全国各常設館に対する映画製作上の各般調査事項統計報告書（1942.3）／雷撃隊出動特報第1号他、東宝撮影所連絡報道（1944）／劇映画企画進行状態届表（東宝株式会社、昭和十九年六月二十五日現在、劇映画企画進行状態届表（松竹株式会社）、劇映画企画進行状態届表（松竹京都撮影所）昭和十九年七月一日現在、劇映画企画進行状態届表（大日本映画製作株式会社）昭和十九年六月三十日現在（1944.6.7）／関東映画製作業者調べ文化映画認定室（1939）／文化映画企画進行状態届表（松竹株式会社）、劇映画企画進行状態届表（松竹京都撮影所）昭和十九年八月附・現地報道映画（1943.8）／アメリカの短篇映画企画案昭和十九年三月調（1944.3）

映画公社 旧蔵 戦時統制下映画資料集

第Ⅰ期 統制下の映画界 全9巻

[監修] 東京国立近代美術館フィルムセンター [解題] 佐崎順昭 映画研究者

A5判上製・カバー装

● 摘定価：本体215,000円+税

ISBN978-4-8433-4348-7 C3374

第1回配本・全4巻

予定価：本体87,000円+税 ISBN978-4-8433-4349-4 C3374

2014年1月刊行予定

■1 映画公社関係資料

定価：本体17,000円+税 ISBN978-4-8433-4351-7

■2 映画配給社資料

定価：本体24,000円+税 ISBN978-4-8433-4352-4

■3 大日本活動写真協会調査月報 I

定価：本体26,000円+税 ISBN978-4-8433-4353-1

■4 大日本活動写真協会調査月報 II

定価：本体20,000円+税 ISBN978-4-8433-4354-8

第2回配本・全5巻

予定価：本体128,000円+税 ISBN978-4-8433-4350-0 C3374

2014年5月刊行予定

■5 大日本映画協会資料 I 脚本講習会

定価：本体30,000円+税 ISBN978-4-8433-4355-5

■6 大日本映画協会資料 II 映画法

定価：本体27,000円+税 ISBN978-4-8433-4356-2

■7 外地関係 I

定価：本体18,000円+税 ISBN978-4-8433-4357-9

■8 外地関係 II

定価：本体28,000円+税 ISBN978-4-8433-4358-6

■9 映画製作関係(劇映画・文化映画)

定価：本体25,000円+税 ISBN978-4-8433-4359-3

続刊の予定

● 第Ⅱ期 ● 統制下の映画記事・批評・広告 2014年9月刊行予定

● 第Ⅲ期 ● 統制下の映画館 2015年5月刊行予定

関連商品のご案内
パンフレット謹呈いたします。

マキノ 戦前期映画ファン雑誌集成 第Ⅰ期・第1回配本 全6巻

[監修・解題] 富田美香 日本映画界に多くの革新的な試みと実績を提示し、絶大な人気を獲得したマキノ映画。今、その全貌が鮮やかに甦る。

● 摘定価：本体95,000円+税

キネマ週報 全27巻+別巻1

[監修] 東京国立近代美術館フィルムセンター 日本映画の興隆期を週刊誌ならではの機動性でつぶさに記録。戦前メディアの研究には必須の文献。

● 摘定価：本体630,000円+税

国際映画新聞 全67巻+別巻

[監修] 東京国立近代美術館フィルムセンター 映画史に関する人名や出来事、日付の特定が可能。当時国内「唯一の映画経済雑誌」全282号。

● 摘定価：本体1,702,000円+税

満洲映画

全8巻

[監修] 白井啓介 [解題] 上田学 [解説] 鈴木直子 昭和初期、満洲にて刊行された唯一の映画雑誌。幻のキネマ雑誌、遂に復刻なる！

● 摘定価：本体192,000円+税

『日本映画』『映画旬報』

[監修] 牧野守 全51巻 戦時下の映画雑誌を集めた。菊地寛を中心に編集された『日本映画』、当時最大発行部数を誇った『映画旬報』を収録。

● 摘定価：1,029,000円(本体980,000円)

日本映画論言説大系

[監修・解説] 牧野守 全30巻 日本の映画理論を中心に、その草創期から昭和20年までの言説を精選し体系的に編纂。希少性が高い文献を多数収録。

● 摘定価：本体1,702,000円+税



〒101-0047

東京都千代田区内神田2-7-6

TEL.03(5296)0491

FAX.03(5296)0493

<http://www.yumani.co.jp/>

e-mail eigou@yumani.co.jp

★特にお薦めしたい方

映画史、メディア史、歴史学、思想史、社会史、政治史、近代史、文化史、風俗史などの研究者・研究機関。大学図書館。映像・メディア関係専門学校。海外の日本学関連研究施設など。

ゆまに書房 Tel.03(5296)0491/Fax.03(5296)0493 年月日

映画公社旧蔵 戦時統制下映画資料集 第Ⅰ期 全9巻

● 摘定価：本体215,000円+税

ISBN978-4-8433-4348-7 C3374

取扱店

ご注文書
お名前
ご住所

TEL ()